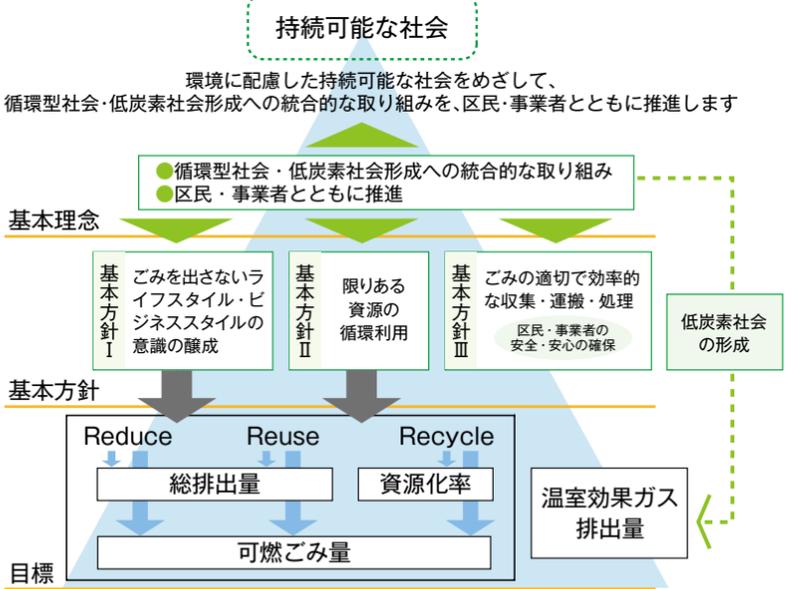


港区一般廃棄物処理基本計画(第2次) 中間年度改訂版を策定しました

概要

平成24年3月に策定した港区一般廃棄物処理基本計画(第2次)について、中間年度の見直しを行いました。計画に掲げた数値目標を達成するには、区民・事業者の皆さんの更なるご協力が不可欠です。「各主体別の取り組みの目安」を参考に、日頃から3Rの実践をお願いします。

- 計画期間 平成29年度～平成33年度
- 計画の全体像



●数値目標

平成33年度までに	平成33年度までに	平成33年度までに	平成33年度までに
16万トン以下 (平成27年度: 178,485トン)	42パーセント以上 (平成27年度: 29.8パーセント)	12万9000トン以下 (平成27年度: 152,261トン)	1万トン以下 (平成27年度: 22,270トン)
総排出量	資源化率	可燃ごみ量	温室効果ガス排出量

循環型社会の形成に係る数値目標 (左3項目)
 低炭素社会の形成に係る数値目標 (右1項目)

●各主体別の取り組みの目安

区民	少量排出事業者	多量排出事業者
1人1日当たり 134グラム のごみを減らす。	1日1事業所当たり 678グラム のごみを減らす。	1日1事業所当たり 6キログラム のごみを減らす。
減量: 113g (りんごの皮 大根の葉 1.5個分 (約20cm) 等) 資源化: 21g (チラシ (新聞紙半サイズ2枚) 等)	減量: 645g (生ごみ 1.2リットル分 等) 資源化: 33g (OA用紙8枚 (A4サイズ) 等)	減量: 生ごみ 5リットル分 (約3キログラム) 等 資源化: OA用紙 750枚 (A4サイズ) (約3キログラム) 等

主な施策

食品廃棄物・食品ロス削減の普及啓発【重点施策】

食べ残しや廃棄される食品の削減、「港区食べきり協力店」の利用等、幅広く食品ロス削減に向けた普及啓発を推進していきます。

新規

家庭での生ごみの水切り・堆肥化の促進【重点施策】

段ボールコンポストで生成した堆肥の活用方法を情報提供することで、家庭でできるごみ減量に向けた具体的な行動の推進を図ります。

事業系生ごみの発生抑制【重点施策】

新規

事業者の生ごみ削減等の取り組みに関する情報提供を強化していきます。また、会食・宴会時の食べ残しを減らすため、最初の30分、最後の10分間は食事を楽しみ、食べ残しを減らす「30・10(さんまる いちまる)運動」を普及させていきます。

事業系ミックスペーパー・生ごみの資源化促進【重点施策】

拡充

品目等に応じて、事業者のニーズに合ったリサイクル事業者を紹介できる体制を整備していきます。

※平成27年度に実施した集積所ごみ排出実態調査では、可燃ごみの中に資源が約26パーセント、未使用食品が約3パーセント混入していました。適切な分別、食品ロスの削減にご協力ください。

※計画の全文は、港区ホームページでご覧いただけます。

問い合わせ

みなとリサイクル清掃事務所運営係 ☎3450-8025

第4弾! メッセージといっしょに…大切な思い出を橋渡し リユース♡♡♡ブリッジ

対象 区内在住・在勤者

日時 7月15日(土)

第1部 午前11時～11時50分(予約制)

第2部 正午～午後0時40分
(午前11時45分受け付け開始)

場所 麻布区民センター区民ホール

対象品目 未就学児から小学生までの子ども服と本

費用 無料

定員 第1部のみ50組(申込順、1世帯1組)



交換できるもの

●子ども服、靴全般(清潔で破損の少ないもの。クリーニングの必要はありません。洗濯してお持ちください。肌着は新品未開封のものに限ります)

●子ども用の本(破損、汚れの少ないもの)

※当日持参する服・本の点数により、持ち帰りができる点数が変わります。詳しくは、お問い合わせください。

申込方法

第1部は電話またはファックスで、7月7日(金)までに、住所・氏名・電話番号・参加人数を、みなとリサイクル清掃事務所へ。

第2部は、当日直接会場へ。

※一時保育はありません。

※転売目的の参加はお断りします。

問い合わせ

みなとリサイクル清掃事務所ごみ減量推進係 ☎3450-8025 FAX3450-8063

リデュースキャラクター

「だんじろう(断辞郎)」誕生

～戸板女子短期大学との協働で考案されました～



区は、ごみ削減に向け、3R(リデュース、リユース、リサイクル)のキャラクターとしてリユース助(リユースキャラクター)、エコル(リサイクルキャラクター)を制作し、啓発活動等を行ってきました。

今後、さらにごみの削減に向けた取り組みを行う中で、「リデュース」を一層PRするため、戸板女子短期大学との協働で新たなキャラクター「だんじろう(断辞郎)」を制作しました。

ごみを削減するための普及啓発活動でリユース助、エコルとともに活躍していきます。

だんじろう(断辞郎)

「断」はいらぬものを断る、「辞」は使い捨てるレジ袋等を辞退する意味が込められています。



リユース助



エコル

ガスシリンダーは区で収集できません

最近、ソーダ等を作るために使用された炭酸ガスシリンダーが、不燃ごみとして廃棄されていることがあります。ガスシリンダーは、区が指定する処理困難物に含まれます。収集の際に爆発する恐れがあり、大変危険ですので、集積所に排出しないようお願いいたします。処分方法については、販売店かメーカーにお問い合わせください。



爆発した炭酸ガスシリンダー



爆発で割れたガスシリンダー断面図

火災の恐れがあるごみについて

多くの清掃車は、ごみを圧縮して運んでいます。次のごみは、圧縮した際に車両火災が発生する恐れがありますので、出し方に注意してください。

スプレー缶・カセットボンベ・ライター

次の手順で、不燃ごみの日に出してください。

- (1) 必ず中身を使い切ってください。
- (2) 他の不燃ごみとは分けて、別の袋で出してください。
- (3) 「キケン」・「スプレー缶」等と分かるように、ごみ袋に表記してください。

充電式の電池・リチウムイオンバッテリー・ボタン電池

販売店の回収ボックスへ出してください。

問い合わせ みなとリサイクル清掃事務所作業係 ☎3450-8025

資源回収にご協力ください

ごみではなく「資源」です

次の品目は、ごみではなく資源です。これらの資源が、可燃ごみや不燃ごみに混入して排出されています。貴重な資源の有効利用のために、分別と、適切な排出をお願いします。

ごみを減らすために

資源を適切に回収することで、埋め立て処分されるごみの量が減り、処分場の延命化につながります。また、可燃ごみの焼却量が減ると、温室効果ガスの排出を抑制できます。

区民の皆さんには、ごみの削減と資源回収へのご協力をお願いします。

集積所回収

ごみや資源を排出する場所として定めた集積所から、週に1回、地域の決められた曜日に回収します。

びん(飲食用)



新しいびんやガラス製品の原料、土木、建築資材等に使われます。

かん(飲食用)



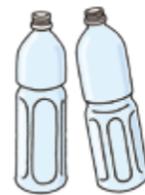
スチール缶は建築資材等の鉄製品に、アルミ缶は、缶の他、電気製品・自動車の部品等に使われます。

古紙



ノートや新聞紙、菓子箱、段ボール、トイレトーパー等に生まれ変わります。

ペットボトル



文房具類や、台所用品等の日用品に生まれ変わります。 ※キャップとラベルは資源プラスチックへ出してください。

資源プラスチック



プラスチック製品や、肥料、アンモニア等の化学原料等に生まれ変わります。

拠点回収

総合支所等の区有施設に回収ボックスを設置し、区民の皆さんが持ち寄ったものを回収します。

小型家電製品



金、銀、銅やレアメタルを回収します。 なお、平成29年度から東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会のメダル製作にも活用されます。

古着



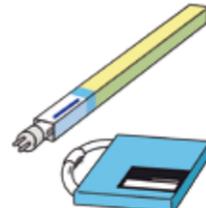
主に海外でリユースされます。古着として使用できないものは、ウエス(工業用雑巾)に生まれ変わります。

乾電池



鉄や亜鉛等を回収します。

蛍光灯



水銀、ガラス、アルミニウム等を回収します。

廃食用油



バイオディーゼル燃料、石けん、塗料、肥料等に生まれ変わります。

イベント回収

区内のイベント会場等で、年に5回程度、資源回収を実施しています。

対象品目 古着、布団、廃食用油、小型家電製品

問い合わせ

みなとリサイクル清掃事務所
ごみ減量推進係

☎3450-8025

☎電話番号のかけ間違いにご注意ください。